

1. 第1回常任理事研究協議会 参加 18名(12校)

日時 令和6年(2024年)6月7日(金)

会場 北海道静内高等学校

内容 議題 (1) 令和5年度事業報告
(2) 令和5年度決算報告
(3) 令和6年度事業計画(案)
(4) 令和6年度予算(案)
(5) 令和6年度役員(案)
(6) 令和6年度第1回全道理事研究協議会報告
(7) 研究助成金申請・報告書様式について
(8) 事務局校・研究当番校ローテーションについて
(9) 令和6年度北理研苫小牧支部会員名簿

2. 総会・研究協議会 参加 18名(10校)

日時 令和6年(2024年)11月22日(金)

会場 苫小牧 CCS 実証試験センターおよび東開文化交流サロン

内容 研究協議 環境教育について(苫小牧 CCS センターの取り組みなど)
議題 (1) 令和6年度第2回全道理事研究協議会報告(支部事業計画や予算も)
(2) 研究助成金の審査について
(3) 次年度以降の支部ローテーションについて
(4) 令和8年度北理研全道大会について その他



苫小牧 CCS 実証試験センターでの様子

(3. 冬休みサイエンスフェスティバル 2025

小学生参加 72 名 (日高管内 4 小学校)
北理研会員講師 9 名 (日高管内 3 高等学校)

日 時 令和 7 年 (2025 年) 1 月 14 日 (火)

会 場 新ひだか町公民館

内 容 理科実験・ものづくり体験コーナーなど 11 講座を小学生最大 1 人 4 講座受講



北 海 道 新 聞 令和 7 年 (2025 年) 1 月 22 日 (水)

粉砂糖の粉じん爆発を見学する児童たち (右列)

理科すごく面白い

新ひだか 児童が高校教諭に学ぶ

【新ひだか、新冠】日 エステイバル2025
高層内の高校の先生から
理科の楽しさについて学
ぶ「冬休みサイエンスフ
estival」が、新ひだか町
公民館で行われた。

児童の前で、空気中に浮
遊する粉状の物質が火花
などが引火して燃える粉
じん爆発について、粉砂
糖を使って説明。「粉砂
糖が細かい方が燃えやす
い」と解説した。

新ひだか町立豊野小4
年の宮内冬真さんは「花
石爆発体験でササの樹の
化石を見つけたら楽し
かった。理科って、すこ
い面白いと思った」と話
した。

終了後、内田
教諭は「理科を
苦む児童が
多い中、たくさ
んの子に集まっ
てもらえて良か
った。科学の面
白さや楽しさ、
今後も続けてい
きたい」と話し
た。

(右純太)
ロケット作り体験
では、指でかたど
った不思議な形の
物も完成。児童か
ら笑顔が溢れた。